

授業科目 臨床検査総論Ⅰ

【担当教員名】 長濱 大輔		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：G10】 臨床検査の意義と臨床検査技師の役割を認識し、その心構えと一般的注意事項を身に付ける。そして採血法を初めとした検体採取と取扱い方法を習得する。それから血液検査以外の尿検査、糞便検査、脳脊髄液検査、関節液検査などのスクリーニング検査を主とする一般検査学を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 臨床検査技師の業務範囲について簡単に説明できる。 2. 採血の手技や注意点について説明できる。 3. 各種検体の取り扱い方法について説明できる。 4. 尿中成分の検査法について説明できる。 5. 医療の質と安全管理について簡単に説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	臨床検査技師の役割と使命			1	講義
2	臨床検査に関する心構えと一般的注意			1	講義
3	臨床検査が行われる場所			1	講義
4	採血法			2	講義
5	検体の取扱い方			3	講義
6	一般（臨床）検査概論と尿の基礎知識			4-5	講義
7	尿の一般的性状と尿試験紙の取扱い			5	講義
8	尿タンパク・糖・アセトン体			5	講義
9	尿ビリルビン・ウロビリノーゲン・ポルフィリン体			5	講義
10	血尿、ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿			5	講義
11	尿アスコルビン酸・亜硝酸塩・VMA・HVA・5-HIAA			5	講義
12	その他の尿定性・判定量検査			5	講義
13	細菌尿			5	講義
14	細菌尿と尿中亜硝酸塩検出			5	講義
15	妊娠反応、乱用薬物スクリーニング検査、まとめ			1-6	講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床検査総論	伊藤 機一、松尾 収二 他	医学書院	2013	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験（90％）、小テスト（10％）			【履修上の留意点】 臨床検査技師および臨床検査に関する基本的事項を学ぶので、確実に理解するように努める。		